



Medical Satellite Yaesu Clinic News

Vol.11 (bi-Monthly) JUN, 2004

発行所：メディカルサテライト八重洲クリニック
東京都中央区八重洲 1-5-9 八重洲アメレックスビル 9F



0120-786-055

TEL03-3516-8020 FAX03-3516-8022

『第三回講演会のご報告』

『どこにでもある？脳卒中の危険！』

河内伸夫 (カワウチ ノブオ) 先生講演会、好評のうちに終了



講師：河内先生

去る5月9日(日)に当クリニック主催の第3回講演会を開催いたしました。ご参加いただきました先生方には厚くお礼申し上げます。

今回は、「脳卒中(症状と画像の対比)」と題し、当クリニックの読影医師であり、東京警察病院放射線科部長である河内伸夫先生に講演いただきました。臨床の場での症状と画像の対比を、当クリニックのMRI・CT画像などを用いて解説されました。また、質疑応答も、ご参加の先生方から多数ご質問をいただき、大変盛り上がりしました。

《 講演内容 》

- 1、プロローグ : 一見軽症だが実はどこにでも潜む非常に危険な脳卒中
- 2、脳卒中の一般知識 : 疫学・臨床像
- 3、脳卒中の画像 : 画像解釈のための基礎知識
- 4、軽症例・無症候例の扱い

講演では、ラクナ梗塞などのような穿通枝の動脈硬化が原因の小梗塞の多い患者様の場合でも、硬化した血管が破裂することによって出血を起こすことが多いので、治療に抗凝固療法を選択する場合は、この出血リスクを踏まえた対応が望ましいなど、日常の臨床にもご活用いただける情報を盛り込んでお話いただきました。



ご参加された先生方からの講演後アンケートの中でも、興味深く参考になったというご意見を多数頂戴いたしました。

次回は、8月に開催の予定です。先生方のご要望に沿ったテーマにして参りますので、どうぞご期待ください。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

(記事担当 / 平山真理、松野京子)

『MRCP』

腹部領域の検査において、CTよりもMRがfirst choiceとなるもののひとつにMRCP(magnetic resonance cholangio pancreatography)があげられます。日本語訳は、『MR胆管膵管撮像』となります。

MRCPは、T2強調画像をさらに強調したheavy T2強調画像と呼ばれるものを撮像いたします。通常のT2強調画像(TE=80~120程度)では水や脂肪が高信号(白く)描出されま

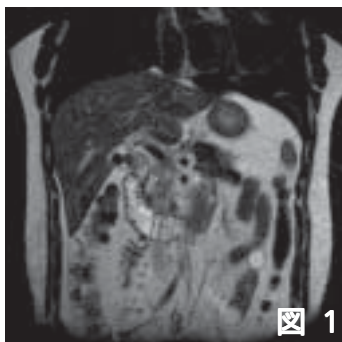


図 1

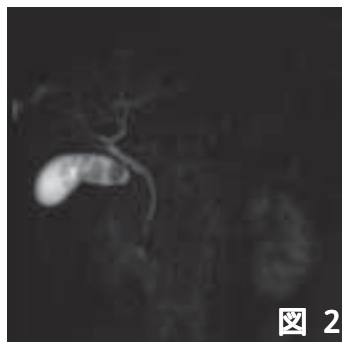


図 2

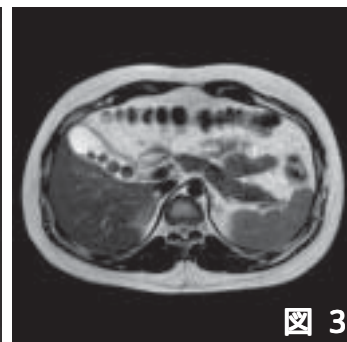


図 3

す(図1)。しかし、さらに強いT2強調(TEが200以上)にすると、水のみ信号が残り、その他臓器の信号は消失してしまいます(図2)。この効果を利用して、腹部領域における胆汁、膵液以外の信号を消し去ることで、造影剤を用いずに肝内胆管、総胆管、胆嚢、膵管の描出を可能としているのがMRCPです。

この撮像法の主な利点として、

- (1) 造影剤を使用せずに描出が可能
 - (2) 狭窄などにより内視鏡的検査が不可能な場合の検査としても有用
 - (3) 検査時に合併症の心配がない
- 等があげられます。

当クリニックでは前額断面(図1)や横断面(図3)などのT2強調画像にMRCP(図2)を付加することで、より確実な診断を可能にしています。

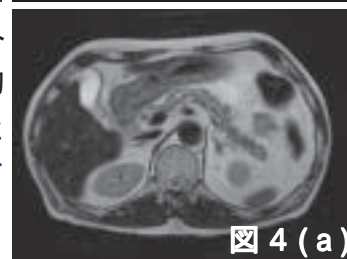


図 4 (a)

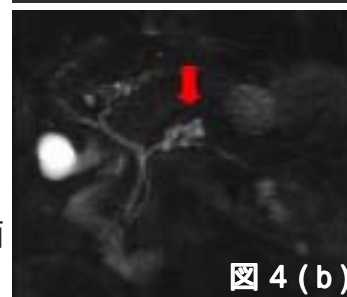


図 4 (b)

図4：膵IMPT(多房性嚢胞腫の画像)

a) 横断面T2強調画像

b) MRCP

(診療放射線技師 奥秋知幸)

『診療時間延長のお知らせ』

先生方から『土・日・祝日の診療時間をもう少し長くして欲しい。』とのたくさんのご要望を頂戴いたしましたので、5月1日から、**土・日・祝日**の診療時間を延長させていただいております。

今後とも、あらゆる面で改善を重ね、先生方の「検査室」として更にお役に立って参りたいと存じます。何卒、よろしくお願い申し上げます。

《従前の診療時間》

月～金

9:00～21:00

土・日・祝日

10:00～17:00



《変更後の診療時間》

月～土

9:00～21:00

日・祝日

9:00～19:00